

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業見直しプラン	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
隣保館整備事業	市民対話課	現状維持	施設の適正管理のためには、今後も一定額の整備費は必要であり、優先順位により通年整備を図る。 施設の老朽化に伴う3施設のあり方については、地域と調整し慎重に検討していく。	【一部達成】 3施設とも老朽化により、使用面、建物管理面、安全面で支障をきたしているため、年次的に整備を図っている。 R2年度実施整備 ・坂越隣保館 郵便ポスト・屋外掲示版更新 ・有年隣保館 照明器具・室内ドアの取替 ・真殿公民館 会議机更新	一部達成	3施設とも老朽化により、使用面、建物管理面、安全面で支障をきたしているため、年次的に整備を図っている。 R3年度実施整備 ・坂越隣保館 網戸取付 ・有年隣保館 学習室エアコン取替、照明器具取替
西播磨成年後見支援センター運営事業	社会福祉課	現状維持	西播磨成年後見支援センターは西播磨4市3町の共同設置のため、4市3町と連携を図りながら西播磨成年後見支援センター運営推進会議において事業実施や費用負担について協議していく。	【一部達成】 西播磨4市3町で連携を図りながら西播磨成年後見支援センター運営推進会議において、事業内容や費用負担について協議を行った。 引き続き、事業内容とそれに係る費用負担が適正かどうかを精査するとともに、地域の中核機関である西播磨成年後見支援センターをはじめ関係機関と連携を図り、成年後見制度を必要とする高齢者等が適切に制度を利用できるよう支援を行っていく。	一部達成	西播磨4市3町で連携を図りながら西播磨成年後見支援センター運営推進会議において、事業実施や事業内容及び費用負担について協議を行っている。 引き続き、事業内容とそれに係る費用負担が適正かどうかを精査するとともに、地域の中核機関である西播磨成年後見支援センターをはじめ関係機関と連携を図り、成年後見制度を必要とする高齢者等が適切に制度を利用できるよう支援を行っていく。
介護給付費等支給事業	社会福祉課	現状維持	利用者のニーズを見極め、必要なサービス提供事業所の確保に努めることで、障がいのある人の生活の支援や社会参加の機会を確保する。	【一部達成】 利用者のニーズを見極めるために事業所・関係団体等にニーズ調査を行い、必要なサービス提供事業所の確保に努め、障がいのある人の生活の支援や社会参加の機会の確保に努めた。	一部達成	障害福祉サービス等の利用者の増加傾向にあるため、ニーズ調査を分析し、要望の多かった障害福祉サービス提供事業所の確保について事業所に働きかけを行った。引き続き、必要な障害福祉サービス等について提供事業所の確保に努め、障がいのある人が安心して地域で暮らせるよう支援を行っていく。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業見直しプラン	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
心身障害児就学奨励補助金	子育て支援課	現状維持	継続実施とするが、今後、他市の状況等を勘案しながら、事業の見直しを検討していく。	【検討中】 令和2年度も引き続き事業を実施。 特別支援学校に在学する児童・生徒の健やかな成育に寄与できている。 事業の見直しについては、障がいのある子どもへの支援状況や他市の状況等を勘案しながら、慎重に検討していく。	検討中	令和3年度も引き続き事業を実施。 特別支援学校に在学する児童・生徒の健やかな成育に寄与できている。 本事業については、近隣市町においても実施されており、現時点では、障がいのある子どもへの経済的支援として、継続実施が望ましいと考える。 事業の見直しについては、今後、他市の状況等を勘案しながら、慎重に検討していく。
(港湾整備事業) 御崎地区公有水面施設整備	土木課	現状維持	経済的な工法を検討し、工事実施予算の軽減に努めながら、施設の安全確保及び防災機能の向上を図る。	【一部達成】 経済的な工法を検討し、工事実施予算の軽減に努めながら、施設の安全確保及び防災機能の向上を図っている。県及び地元と十分調整し事業を進めているところである。	達成済	令和2年度において、御崎地区公有水面施設の安全確保及び防災機能の向上を図るため、施設整備を実施した。
道路台帳整備事業	土木課	現状維持	統合型GISの導入を見据えた電子化を検討するため、関係所管との情報交換や、先進市等の調査研究を行いながら、業務を継続する。	【一部達成】 公共灯LED化事業の検索システム導入に合わせて、各種データを保管できる環境を整備した。今後、どのようなデータを共有することができるか庁内で協議を進める	一部達成	令和2年度において、赤穂市ホームページの地図情報サービスにLED公共灯検索画面を新設し、市民にも情報提供を行った。
(青少年健全育成推進事業) 青少年育成啓発活動	青少年育成センター	改善	青少年の健全育成は、非行の未然防止だけでなく、再犯防止の観点からも、関係機関と連携した取組が必要である。各学校園所をはじめ関係機関に防犯カレンダーを配布し日常的な市民の防犯意識啓発を図るとともに、青少年育成推進委員による社会復帰のための施設視察も含めた研修を充実させ、未然防止と再犯防止の両面から、	【一部達成】 青少年の非行に関し、未然防止、再発防止の観点から、関係機関への防犯カレンダー配布を今年度も継続して行い、2月頃には配布を予定している。来年度以降も活用状況や発行部数の見直しを継続して行っていく。また、青少年育成推進委員による視察研修については、今年度はコロナ禍の影響のため中止となったが、来年度以降も実施内容等を検討しつつ継続していく。更正施設等の	一部達成	今年度も防犯カレンダーの配布（2月頃を予定）を継続して行い、青少年の非行における未然防止、再発防止を軸に啓発活動を展開する。次年度以降も事業の継続内容については、引き続き精査し、見直しを行う。コロナ禍の現状では、青少年育成推進委員各位の担当地区における地道な「ながら見守り」が活動の中心となるため、3密を回避しながら生活に密着した活動を行っている。また、更正施設等への視察研修については、今年度も中止を余儀なくされたが、非行や犯罪の防止につながる啓発活動を市民の力で

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業見直しプラン	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
			青少年の育成啓発活動を推進する。	訪問により、非行や犯罪の防止につながる啓発活動への効果が十分に期待できるものとする。		支えていくために効果的な活動であることから、来年度以降も実施内容を入念に検討しながら継続していく。
(青少年健全育成推進事業)地区青少年育成推進事業	青少年育成センター	改善	青少年の居場所となる地域コミュニティの活性化は、地域で子どもを守り育てようとする地域の教育力向上に寄与する。地域とともにある学校づくりを推進している学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と連携し、自治会の地域住民の参画のもと、各地区育成推進委員会を中心に地域における諸行事を通じて、地域コミュニティの活性化を図る。	【一部達成】 地域コミュニティの協力なくして青少年の健全育成は成立しない。自治会を中心とした地域と学校運営協議会等との連携の下で、児童生徒の育成を目指した活動を展開していくことが求められる。今年度はコロナ禍の影響から行事の縮小、中止等を余儀なくされている。来年度以降も青少年健全育成の取組を多面的に進めるが、諸般の事情から、事業内容の縮小や統合も視野に入れることが必要であると考えられる。	達成済	自治会を中心とした地域と学校運営協議会等が連携し、地域コミュニティにおいて青少年の健全育成につながる活動を展開していく効果は大きい。 そのような観点から、各公民館を拠点とする地域の青少年育成活動をこれまで支援してきたが、青少年育成啓発活動と併せての活動内容の精査から、予てよりその縮小を検討してきた。 コロナ禍の影響から、今年度も行事等の縮小が必要となった経緯もあり、各公民館における青少年健全育成に関する事業への支援を廃止することとした。
近畿高等学校剣道選抜大会開催経費	スポーツ推進課	改善	近畿2府4県の新人大大会男女ベスト4を参加要件とし、48チームが参加するレベルの高い大会となっているが、地元赤穂高校が出場できるよう地元枠の申し入れを継続して行っている。 また、市補助金の負担が軽減できるよう、出場校からの参加費の見直しを依頼している。今後も兵庫県高等学校体育連盟など関係団体等と連携し、大会運営費の経費節減を図るとともに、効率的な大会運営に努めていきたい。	【検討中】 地元枠の設定については、主催者である近畿剣道連盟から難色を示されており見直しはないが、参加費については現在1チーム5,000円からの見直しを継続協議としている。引き続き、運営経費節減と合わせ市補助金の縮減に努めたい。	一部達成	地元枠については、本大会が各府県の子選を勝ち抜いた選抜大会であることから優先出場は困難であるが、運営スタッフ等の立場から間近で高レベルの試合に触れることができるため、大きな刺激となっている。 参加費の見直しについては、継続協議中であるが、運営経費等の節減に努めており、市補助金の支出は年々縮減できている。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業見直しプラン	令和2年度	令和3年度（8月）	
				見直しプランの達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・達成済 ・一部達成 ・検討中 	見直しプランの達成状況
赤穂義士杯青少年柔道大会開催経費	スポーツ推進課	改善	<p>現在、赤穂義士杯柔道大会は参加費を徴収していない大会であるが、市補助金の負担が軽減できるよう、参加チームから参加費を徴収できるよう、柔道協会へ働きかけを行っていきたい。今後も赤穂市柔道協会など関係団体等と連携し、大会運営費の経費節減を図るとともに、効率的な大会運営に努めていきたい。</p>	<p>【検討中】 今年度の大会は中止となったが、来年度大会に向けて、引き続き参加費の徴収について柔道協会等と協議を行うとともに、大会運営費の節減を図り、市補助金の縮減に努めたい。</p>	一部達成	<p>今年度大会より、参加費の徴収を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により大会は中止となった。 来年度以降、参加費の徴収や運営経費の節減により一層の市補助金の縮減に努めていく。</p>